

日本天文学会 2008 年春季年会のお知らせ

2008 年春季年会は、2008 年 3 月 24 日(月)から 3 月 27 日(木)までの 4 日間、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都・渋谷区）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の第 101 巻 3 月号（2008 年 2 月 20 日発行）に掲載予定です。

(1) 料金表

| 項目 | 会 員 | 非会員 | |
|-------|---------------------------------------|----------------|-----------|
| 参加費 | 3,000 円（不課税） （但し会員で講演ありの場合、参加費は無料） | 5,000 円（消費税込み） | |
| 講演登録費 | 3,000 円（不課税） | 5,000 円（消費税込み） | （1 講演につき） |
| 年会予稿集 | 1,000 円（消費税込み） | 1,000 円（消費税込み） | |

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても会期終了までに講演登録費を支払う必要があります。

(2) 受付期間および連絡先

| 事 項 | 受付期間・期限 | 送付先・連絡先等 | 関連項目 |
|-------------------------------|-------------------------|---|-----------------------------------|
| 講演申込 | （郵 送） | 2007 年 12 月 17 日(月)必着 | 日本天文学会年会係 年会 Web ページでアナウンス |
| | （電子メール） | 2007 年 12 月 4 日(火)正午から 2007 年 12 月 18 日(火)正午まで ^(注1) | |
| 複数講演の順序指定 | 2007 年 12 月 24 日(月)正午まで | 年会実行委員会 | (7) |
| ポストデッドライン・ペーパー | 2008 年 3 月 13 日(木)まで | 年会実行委員会 | (8) |
| 最新情報コーナー | 年会会期中まで | 年会実行委員会 | (9) |
| 保育室の利用申込 | 2008 年 3 月 1 日(土)まで | 年会実行委員（保育室担当） | (10) |
| 講演の変更など | 分かった時点ですぐに | 年会実行委員会 | (11) |
| 各種の会合申込 | 2008 年 3 月 1 日(土)まで | 年会開催地理事 | (12) |
| 特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦 | 2007 年 12 月 1 日(土)まで | 年会実行委員会 | (13) |
| 懇親会の会期前申込 | 2008 年 3 月 12 日(水)まで | 「(14) 懇親会と参加申し込みについて」参照 | |
| 旅費一部補助 | 2008 年 1 月 20 日(日)必着 | 本号「旅費補助について」参照 | |
| ジュニアセッション講演申込 | 2007 年 12 月 18 日(火)必着 | 本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照 | |

（注 1）電子メールの自動受付は 12 月 19 日(水)午前 9 時まで行いますが、12 月 18 日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として 12 月 18 日(火)正午までに投稿して下さい。

連絡先

◆年会実行委員会 委員長 中本泰史（年会理事・東京工業大学）

e-mail: committee2008@nenkai.asj.or.jp 電話: 03-5734-3535 FAX: 03-5734-3538

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail: committee2008@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 嶋作一大（東京大学）

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻

e-mail: yoyogi2008@astron.s.u-tokyo.ac.jp 電話: 03-5841-4259 FAX: 03-5841-7644

年会開催期間（2008 年 3 月 24 日～27 日）の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の 15 分野です。
J. 高密度星, K. 超新星爆発, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P. 星・惑星形成, Q. 星間現象, R. 銀河, S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V. 地上観測機器, W. 飛翔体観測機器, X. 銀河形成, Y. 天文教育・その他
- 「企画セッション」は次の 2 件です。
 - A. 「赤外線・サブミリ波で探る赤い銀河の形成と進化」
世話人：市川 隆（東北大学）、田中 壱（国立天文台）、松原英雄（ISAS/JAXA）、
松浦周二（ISAS/JAXA）、河野孝太郎（東京大学）、中西康一郎（国立天文台）、
太田耕司（京都大学）、有本信雄（国立天文台）、花見仁史（岩手大学）
 - B. 『『あかり』で探る銀河系・近傍宇宙での物質循環』
世話人：村上 浩（ISAS/JAXA）、尾中 敬（東京大学）、山村一誠（ISAS/JAXA）
- 企画セッションは、世話人から依頼される講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申し込みを行います。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、講演申し込みの際には世話人からの指示に従って下さい。

(4) キーワード

- 分野のあとにキーワードを記入して下さい。プログラム編成の参考にします。
- 観測機器分野（地上・飛翔体）で、関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入して下さい。
- 特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び、それらをキーワード欄の先頭に入れて下さい。

◎推奨キーワード

- | | |
|---------|--|
| 高密度星 | ： 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化 |
| 超新星爆発 | ： 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸 |
| 太陽 | ： 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風 |
| 恒星 | ： 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動 |
| 銀河 | ： 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河 |
| 銀河形成 | ： 銀河進化, 化学進化 |
| 地上観測機器 | ： 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線 |
| 飛翔体観測機器 | ： 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波 |

(5) 講演の形式

- (a) 口頭講演 (9 分間の口頭発表と 3 分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと 3 分間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ) の 3 種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。なお (a) 講演で講演者となれるのは、年会全体で 1 人 1 講演までです。
- 口頭発表用にプロジェクタおよび書画カメラ (OHP のような透過タイプではなく紙を上から読み取るタイプです。片面印刷された A4 用紙を用いて下さい) を用意します。ただし、書画カメラの使用を希望する場合は講演申し込み時に申し出て下さい。プロジェクタに接続するパソコンはご自分でご用意下さい。
- ポスター 1 枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は縦 180 cm, 横 90 cm です。)

(6) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- 規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送り下さい。
- 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上、e-mail または FAX で天文学会年会係まで請求して下さい。

◆電子メールによる申し込みの場合

- 年会の Web ページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用して下さい。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i) 十分な背景説明を行うこと、(ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の 2 点を心がけて下さい。これらに留意すれば、大抵は 10 行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは、受理しない場合があります。

※予稿集は事前配布となっており、2008年2月20日付で発行する予定です。年会のWebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際は、十分ご注意ください。

◆注意：講演者は氏名の欄で○をつけて下さい（必ずしも筆頭著者でなくても結構です）。講演登録費はこの講演者が支払って下さい。

(7) 複数講演の順序指定

●グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申し込み後、期限内に下記1,2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡下さい。

1. 受付番号（分野、発表形式を含む番号）、2. 講演者名

(b) 講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おき下さい。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

●PDLは、緊急性・トピックス性に富んだものに限ります。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申し込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。

●年会の申し込み締切後、3月13日(木)まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付して下さい。

●PDLの講演方法は、(b) ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）、または(c) ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）です。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

●最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースがなくなれば、受け付けを終了します。

(10) 天文学会会期中の保育室

●保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載しています。不明な点は年会実行委員（保育室担当）へe-mail (hoiku2008@nenkai.asj.or.jp) でお問い合わせ下さい。

(11) 講演のキャンセルや変更

●やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、その理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡して下さい。ただし、講演のキャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立てて下さい。

(12) 年会時の各種会合

●会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会開催地理事までご連絡下さい。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯に限ります。

●申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承下さい。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

●多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談下さい。

●2008年より、秋季年会では原則としてこれらを実施しない予定です。（春季年会でのみ開催）

(14) 懇親会と参加申し込みについて

●懇親会は、3日目（3月26日）夜に国際交流棟レセプションホールにて開催予定です。会費は、天文学会員かどうかにかかわらず、会期前申し込みの場合は一般5,000円、学生3,000円、年会当日申し込みの場合は一般6,000円、学生3,500円の予定です。ただし当日券は枚数を限定し、なくなり次第販売を終了する予定です。

●会期前申し込みの締切りは3月12日(水)必着です。後日 tennet でお知らせするウェブページからか、ハガキで申し込んで下さい。ハガキの場合は、氏名、連絡先（できれば email アドレスも）、一般/学生の区分を明記して、年会開催地理事宛にお送り下さい。

●懇親会の開催準備のため、参加者数を早めに把握する必要があります。懇親会に参加希望の方は、できるだけ会期前申し込みをご利用下さい。

中本泰史（年会実行委員長）

日本天文学会旅費補助について

日本天文学会では、正会員（学生）の年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、該当する申込締切日までに下記の用紙（学会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/asj/forms.html> からダウンロードできます）に記入の上、郵送か FAX で申請して下さい。尚確認の為、氏名・所属を明記の上申請書を送った旨のメールを学会事務所 (jimu@asj.or.jp) へお送り下さい。

応募資格は、講演者（ポスター講演も含む）であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費が適用されていて、かつ正式な給与を受けていない人に限ります（日本学術振興会の特別研究員等は、補助対象外です）。

1. 旅費は、年会会場でお渡ししますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意下さい。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙をコピーしてご使用下さい。
4. 申請先

郵送：〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会
FAX: 0422-31-5487

締 切 春季年会：1月20日・秋季年会：7月20日 必着

なお、電子メールでの申請は受付けていません。

不明な点は、学会事務所にお尋ね下さい (TEL 0422-31-1359)。

.....キリトリセン.....

年会旅費補助申請書

年 月 日

(社)日本天文学会 理事長様

(ふりがな)

申請者氏名 _____

会員番号 _____

所 属 _____

E-mail _____

講演受付番号 _____

出 発 地 _____

講 演 題 名 _____

指導教官所属・職・氏名

(自筆署名) _____

日本天文学会第 10 回ジュニアセッションのお知らせ

中学生・高校生・高専生が天文学会年会の場で発表するジュニアセッションを、2008 年の天文学会春季年会で開催します。天文や宇宙に関係することについて、観測・研究したり調べたりしたことがあれば、なんでも発表できます。発表は下記のとおり募集しますので、ふるって応募してください。また、10 回目を記念して、海外からの参加者との交流会などのイベントも企画しています。多くの皆さんの参加があることを期待しています。

◆日時・場所

日本天文学会 2008 年春季年会にて

2008 年 3 月 24 日(月)～27 日(木), 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都・渋谷区)

- 口頭発表: 3 月 25 日(火)
- ポスター発表: 年會会期中
- 交流会や Astro-HS フォーラムなどのイベント: 3 月 25 日ないし 3 月 26 日 (検討中)

◆発表を申し込める人

- 小学生 (高学年), 中学生, 高校生, 高専生 (1～3 年) など 10 歳台の方。高校卒業後は 1 年以内まで。(以下では、簡単のために「生徒」と表記)
- 個人または団体 (グループ)。
- 申し込みの手続きは、代表者 (生徒でも指導者でもよい) が行って下さい。連絡には主に電子メールを使いますので、電子メールが使える方を代表者にして下さい。ただし、電子メールが使えない場合には個別に対応しますので、下の問い合わせ先までご連絡下さい。
- 著者名としては生徒のみとして下さい。

◆発表の内容

- 天文学や宇宙に関係する研究。(高専 4 年次以上および大学で行った学習や研究は除きます。)

◆講演方法

- 発表には、口頭発表 (希望者) とポスター発表 (全員) があります。
- 口頭で発表する場合にも、ポスター発表を行って下さい。これは、発表件数が多い場合など、口頭発表の時間が短くなってしまいますので、それを補うためです。なお、ポスターを作製するのが大変な場合には、口頭発表のプレゼンをそのままコピーして並べて貼り出すものでも構いません。
- ポスターのみで発表することも可能です。さらに、年會会場まで来られない場合などは、予稿とポスターを提出するだけの発表も可能です。

◆申し込みの方法とその受理

- 講演の申し込みは、2007 年 12 月 18 日(火)必着です。(2008 年 1 月初めにはプログラムが確定しますので、申し込みの期限は守って下さい。)
- 申し込みは、ジュニアセッションのウェブサイトから行って下さい。インターネットにアクセスできると、電子メールが使えることが必要です。インターネットにアクセスできない場合や、電子メールが使えない場合には、印刷したものを郵送して申し込むこともできます。郵送で申し込みを行う場合には、下の問い合わせ先までご連絡下さい。
- 申し込まれた講演については、ジュニアセッション実行委員会が審査をし、受け付けるかどうかを申込者にお知らせします。
- 講演申し込みが受け付けられた場合は、発表内容を A4 で 2 ページにまとめた予稿を作成していただきます。これは、ジュニアセッション予稿集として印刷されます。予稿原稿の締切は、2008 年 2 月中旬を予定しています。詳しいことは、講演が受け付けられた方にご連絡します。
- 予稿につきましても、ジュニアセッション実行委員会が審査をします。

◆発表手段

- 口頭発表では、プロジェクタおよび書画カメラが使えます。パソコンを使う場合には、各自で持参して下さい。パソコンをプロジェクタにつなぐときにトラブルがないよう、事前の確認をお願いします。書画カメラは、OHPのような透過タイプではなく、紙を上から読み取るタイプです。したがって書画カメラを使用するときは、片面印刷されたA4用紙を用いて下さい。
- 口頭発表の時間については、プログラムが決まった時にお知らせします。
- ポスター掲示用のボードの大きさは、縦180cm×横90cmを予定しています。

◆セッション参加についての注意

- ジュニアセッションだけに参加する場合（発表および聴講）は、年会の参加費や講演登録費をお支払いいただく必要はありません。年会受付での手続きのときに、ジュニアセッションのみに参加することを申し出て下さい。
- 生徒の方は、そのまま通常のセッションを聴講しても構いません。（一般の方がジュニアセッション以外のセッションを聴講される場合には、参加費をお支払い下さい。）

◆ウェブサイト

- ジュニアセッションの講演申し込みなどについての情報や過去の発表内容につきましては、ジュニアセッションのウェブサイトをご覧ください。日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> からジュニアセッションを選んで下さい。
- 日本惑星協会のウェブサイト (<http://www.planetary.or.jp/>) にも、過去の発表内容（一部）が掲載されています。

◆ジュニアセッション実行委員および世話人

実行委員：

吉川 真，鈴木文二，永井智哉，西村昌能，松本直記，室井恭子

世話人：

縣 秀彦，有本淳一，大西浩次，小野智子，石川直美，篠原秀雄，高橋典嗣，谷川智康，内藤博之，長谷川直子，山岡 均，渡部潤一

◆ジュニアセッションについての問い合わせ先

ジュニアセッションにつきましては、お近くの実行委員や世話人、または下記のジュニアセッション実行委員長まで、お問い合わせ下さい。実行委員や世話人の連絡先は、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。発表内容等についても、お気軽にご相談下さい。

ジュニアセッション実行委員会 委員長 吉川 真 (JAXA)

TEL & FAX 042-759-8341

e-mail: makoto@isas.jaxa.jp

住 所: 〒229-8510 相模原市由野台 3-1-1 宇宙航空研究開発機構